

超顕微解析研究センターの利用について

令和2年5月18日

令和2年5月25日改訂

令和2年6月24日改訂

日頃から超顕微解析研究センターの活動にご支援を頂きお礼を申し上げます。
大学の行動指針も6月25日より段階2に引き下げられることとなりました。しかし、引き続き三密の回避等、感染防止対策を強く求められているため、段階2の期間中も以下の通り限定的な形で共同利用を実施します。課題申請者の皆様には、もう暫くの間ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。また、本件の研究室内での周知をお願い致します。

利用形態について

密閉空間での複数人による長時間作業を回避するため、6月25日以降も、当面の間は職員による技術支援（つきっきりで行う実験の指導や補助）を控えさせていただきます。

6月15日付「今後の九州大学の行動指針について」により、研究活動に従事できる学生の範囲が拡張されました。博士学生に留まらず、卒業年次の学部生及び全ての学府生（指導教員が認めた者、もしくは職員）が研究活動を再開する運びとなりましたが、上記を踏まえて、まずは原則として装置を自ら操作できる方*を対象に共同利用を再開します。ご不明な点や、相談を要する点があれば、センター事務室宛てにメールでご連絡下さい。

*研修会を受講済みで、当センターが単独で操作できると認める利用者の方。

なお、ホームページ(HP)での予約時のコメント欄に、以下の点を添えて頂きたく、お願い申し上げます。

- ① 課題申請者（教員）による「重要かつ緊急の研究活動」である事の説明
- ② センターに入室する方の氏名と身分

予約の方法について

- (1) 平常通り、一週間前の月曜午前 11 時までに、HP の予約フォームより申込みをお願いします。
- (2) 段階2の期間は、マシントイム決定後の追加予約も予約フォームのみで受付けます（事務職員も曜日別出勤を続けるため、電話での追加予約は控えさせていただきます）。追加予約の場合も第三希望までの入力と、コメント欄に上記①②をご記入ください

予約とマシンタイムの決定・通知について

<予約期間>： 平常通り、前週の月曜日午前 11 時までに申込み

<マシンタイムの決定・通知>： 平常通り、HP の予約表に利用者を公開

研修会について

学内では、なおも対面式講義は停止されているため、通常通りの研修会の実施はできませんが、研究支援の観点から、新規利用者を対象とした暫定的な研修会を 7 月より実施いたします。詳細は超顕微センターホームページにて随時更新しておりますのでご確認ください。

なお研究・教育上の特別な理由から、緊急かつ個別の相談が必要な場合にはご連絡をお受け致します（センター事務室宛でのメールにて承ります）。課題申請者の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

超顕微解析研究センター センター長 松村 晶
〃 主任 村上 恭和
〃 事務職員 山下 佳那子
(hvem_office@hvem.kyushu-u.ac.jp)

— 【重要】感染防止にむけたご協力のお願い —

- マシンタイムについては、研究室の 1 名（もしくは 2 名）の方が利用する形態を設定するなど、室内での密集回避にご協力下さい。
- 装置の利用前後に、手洗いや館内に設置したアルコールでの消毒を毎度実施して下さい。また装置利用の際はマスクの着用を心掛けて下さい。
- 微熱や風邪の症状がある場合はセンターの利用をお控えください。